

日 時 平成31年2月12日(火) 18時30分～20時00分
場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1および会議室2
出席者 24名(幹事23名、事務局1名) [懇親会:交流サロンにて 20名出席]

【協議事項】

1. 来年度組織について

内藤会長より、資料①～③に基づき現幹事と現役員の確認があったのち、自身の任期が2019年3月31日を以て満了となるとの報告があった。

については、内藤会長より次期会長に片岡和行氏(現副会長)の推薦があり、満場一致で承認がなされた。続いて片岡氏から会長受諾の挨拶があった。

2019年度の副会長は、新会長の指名により委嘱される。(規約第12条)

2. 来年度総会について

会長より、資料④～⑦に基づき7月20日(土)に開催予定の青雲会総会について実施案及び収支案の説明があり、原案どおり承認された。

- i) 会場 太閤園
- ii) 講演講師 弁護士 小林正啓先生 (内諾済み)
- iii) タイムスケジュール 10時30分～11時15分 総会
11時20分～12時20分 講演会
12時30分～14時30分 懇親会
- iv) 参加費 一般8,000円、周年記念6,000円、卒業5年内会員2,000円、
学生1,000円
- v) アトラクション 担当:菅副会長

収支は20万円の赤字見込みだが、昨年同様一般助成費で予算を計上する。

また、菅副会長から、当日朝の事前準備の協力要請があった。昨年は多くの方に協力いただき、大変スムーズな準備ができた。

3. 本年度決算見込み・事業報告について

会長より、資料⑧～⑫に基づき本年度決算見込み・事業報告について説明がなされた。本年度の入会者は予算案に対して非常に低調であった。原因を究明し対策を考える必要がある。

対策について、出席者から、在学生に同窓会にお世話になっているという感覚を与える機会を増やす、総会に学生を多数参加してもらおうよう勧誘する、キャリア形成支援講演会で雲会をPRする、父兄会などで父兄にアピールする等、様々な意見が出された。

年会費収入は、本年度の未納入者に督促をしたところなので、昨年並の増加を見込みたい。ただ、今年は76歳以上の会員には督促しないこととした。

入会者の激減が主な理由となり、本年度の収支は92万円の赤字となる見込み。

4. 来年度予算案・事業計画について

会長より、資料⑬⑭に基づき来年度予算案および事業計画について説明があった。入会金の予算は、目標値として高めになっている。その他の予算、事業計画はほぼ例年通り。

林名誉会長および内藤会長から、入会者を増やすための時代の流れに応じた具体策考案の必要性を次期執行部にしっかり引き継いで行くとの発言があり、原案どおり来年度予算案及び事業計画が承認された。

5. WEB名簿検討プロジェクトチームについて

プロジェクトチーム長の西井副会長より、資料⑮のとおりWEB名簿検討についての答申があった。

現在WEB名簿を利用している経済学部にはヒアリングを行った。少し古くなっていてややこしいとのこと。他の学部はWEB名簿は利用していない。

グーグルや他のアプリでも一般的な名簿管理システムが出来上がりつつあり、個人情報管理のルールが厳格化されている現在、紙ベースの名簿を発行しても、氏名のみはほぼ白紙の名簿になることが予想される。

については、1、2年は名簿を発行しないで様子を見ておくのが懸命ではないかとの意見が西井副会長から述べられた。

これに関連して、西尾事務局長から、青雲VISAカードでの会費入金や青雲会ホームページの会員専用サイトでの会費や総会参加費のクレジット決済について、現在の青雲会のシステムではセキュリティが脆弱なため数カ月後には利用ができなくなるので、何らかの対策が必要、との説明があった。

また、内藤会長から、会員管理のセキュリティシステムについて、三井住友カード会社からアンケートが届いているとの報告があった。

セキュリティ対策やカード決済方法の改善策について、出席者から様々な意見や情報が出され、内藤会長から、この分野に詳しい千北幹事に加わってもらい、このプロジェクトチームの活動を継続していただきたいとの要請があった。

出席者から、大阪大学同窓会連合会との情報の共有方法も模索していきたいとの意見が出された。

内藤会長から、「同窓会としては紙媒体での名簿は発行しない」というコンセンサスをいただきたいとの確認があり、承認がなされた。

会費等のクレジット払いに関しては、手続きが継続できるように絆コーポレーションと協議をしていくよう内藤会長からの指示があった。

6. その他

諸事情により活動を停止していた財務検討プロジェクトチームについて、2019年3月末の答申期限を延長して、来年度も活動を継続していただきたいとの内藤会長からの要請があり、承認された。

【報告事項】

1. 平成30年度懸賞論文中間報告

会長より資料⑩に基づき青雲懸賞論文の経過報告があった。
今年は28件の論文が提出され、13件が大学の一次審査を通過しており、これから青雲会の二次審査が進められる。

2. 第63回青雲塾案内（3月30日）

松井副会長より、資料⑪に基づき第59回青雲塾の開催案内があった。
講師は 井戸田博史先生。（青雲会会員、帝塚山大学名誉教授）

3. 2019年度（平成31年度）青雲会会報について

会長より、資料⑬⑭に基づき青雲会会報について説明があった。4月末発行予定。

4. 年会費の督促について

会長より、資料⑳～㉓に基づき、年会費未納者1909名に対して督促を行ったとの報告があった。

5. その他

- ・会長より、資料㉔に基づき青雲キャリアチャレンジ賞について説明があった。本年度は8名の応募があり、学生支援室および青雲キャリア支援基金運営委員会で協議の結果、4名を表彰することとなった。（1位1名、2位3名）
- ・3月25日の法学部卒業式について、内藤会長が差し支えで欠席のため、代理出席いただける方を募ったところ、片岡副会長が出席いただけることとなった。

《 2019年度 幹事会 》

第1回 4月25日（木）18：30～大阪大学中之島センター（予定）

第2回以降は追って相談。